

円相場は対ドルで一時的に161円台後半となり、約38年ぶりの安値を更新

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	7月1日	6月28日	前日差
日本	日経平均株価(円)	39,631.06	39,583.08	47.98
	-CME日経平均先物(円)	39,530.00	39,790.00	-260.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,824.28	2,809.63	14.65
	参考)東証REIT指数	1,709.05	1,724.02	-14.97
米国	NYダウ(米ドル)	39,169.52	39,118.86	50.66
	S&P500	5,475.09	5,460.48	14.61
	-S&P500配当貴族指数	4,320.59	4,365.12	-44.53
	ナスダック総合指数	17,879.30	17,732.60	146.70
ドイツ	DAX®指数	18,290.66	18,235.45	55.21
英国	FTSE100指数	8,166.76	8,164.12	2.64
豪州	S&P/ASX200指数	7,750.70	7,767.50	-16.80
中国	上海総合指数	2,994.73	2,967.40	27.33
香港	ハンセン指数	休場	17,718.61	-
インド	S&P BSE SENSEX指数	79,476.19	79,032.73	443.46
ブラジル	ボベスパ指数	124,718.07	123,906.55	811.52
先進国	MSCI WORLD	3,520.04	3,511.78	8.26
新興国	MSCI EM	1,087.38	1,086.25	1.13
商品	(単位:米ドル)	7月1日	6月28日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	83.38	81.54	1.84
金	COMEX先物(期近物)	2,338.90	2,339.60	-0.70
10年国債利回り	(単位:%)	7月1日	6月28日	前日差
日本		1.061	1.042	0.019
米国		4.471	4.392	0.079
ドイツ		2.605	2.485	0.120
オーストラリア		4.380	4.351	0.029
為替(対円)	(単位:円)	7月1日	6月28日	前日比%
米ドル		161.45	160.83	0.39
ユーロ		173.39	172.36	0.60
英ポンド		204.20	203.32	0.43
カナダドル		117.53	117.55	▲0.02
オーストラリア(豪ドル)		107.51	107.23	0.26
NZ(ニュージーランド)ドル		98.08	97.85	0.24
シンガポールドル		118.87	118.56	0.26
中国人民幣元		22.213	22.131	0.37
インドルピー		1.9337	1.9292	0.23
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9890	0.9819	0.72
メキシコペソ		8.782	8.766	0.18
ブラジルリアル		28.516	28.750	▲0.81
トルコリラ		4.938	4.904	0.69
ロシアルーブル		1.8610	1.8755	▲0.77

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。

MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。

WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で

取引される米国の代表的な原油先物。

COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。

表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。

前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。

本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年7月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

- 日本株は上昇。米インフレ沈静化や日銀短観の堅調な結果を好感。TOPIXは金融や商社、海運など割安株主導で上昇し、バブル崩壊後の戻り高値を更新。
- 米国株は上昇。4日の祝日を控え薄商いとなる中、主要3指数が揃って上昇。アップルやテスラなど大型成長株が買われ、ナスダック総合は過去最高値を更新。
- 6月の米ISM製造業景気指数は48.5(5月:48.7)と3カ月連続で景気判断基準の50を下回り悪化。仕入れ価格指数は4.9ポイント下げて52.1となり、約1年ぶりの大幅低下。
- 欧州株はストックス欧州600指数が0.3%上昇し5営業日ぶりに反発。フランス国民議会(下院)選挙の第1回投票で極右政党「国民連合(RN)」が得票率トップとなるも世論調査より勝利が小幅となり、同国株が大幅上昇。
- NY原油先物は反発し約2カ月ぶりの高値。中東での地政学的リスク増大やカリブ海へのハリケーン襲来が材料。為替市場では米ドルが上昇。円は対ドルで一時的に161円70銭台まで下げ、約38年ぶりの安値を再び更新。

◆本日の注目点:

5月米雇用動態調査、6月ユーロ圏消費者物価

5月米雇用動態調査(JOLTS)の求人数は、795.0万件と4月の805.9万件から3カ月連続で減少予想。米労働市場のひっ迫は和らいでいるとみられる。6月ユーロ圏消費者物価は前年比+2.5%(5月:+2.6%)の予想。サービスインフレの高止まりが示される可能性。米FRB(連邦準備理事会)のパウエル議長、ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁がECBフォーラムの討議会に参加予定。(向吉)

主要国金利の動き



注) 直近値は2024年7月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年7月1日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会